

2019年12月5日

農学部附属農場産のお米を学生デザインのラベルで販売 ～山形大学生生活協同組合で12月5日より取り扱い開始～

【本件のポイント】

- 農学部附属やまがたフィールド科学センターエコ農業部門（高坂農場）で収穫された米を学生デザインのラベルで販売開始。
- 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース3年の佐藤 唯杏（さとう いあん）さんがデザインを担当し、山形大学生生活協同組合で初めて販売。
- 売上の一部は「山形大学基金」に寄附され、学生支援に活用。



【概要】

山形大学農学部附属農場（高坂農場）産の4種類のお米（はえぬき、ササニシキ、ひとめぼれ、ミルクークイーン）を山形大学生生活協同組合で初めて販売します（従来は高坂農場でのみ販売）。このお米は専用の大型保冷庫で保管しているため新米時期はもちろんのこと、年間を通して収穫時の品質に近い状態で販売できます。

販売にあたり、地域教育文化学部文化創生コース3年の佐藤 唯杏さん（さとう いあん、鶴岡市出身）がラベルをデザインし、“オール山形大学”の商品となりました。お米は1パック2合（300g）入りで、個別でも4種類入りの箱詰めでもお求めいただけます。

山形大学生生活協同組合の売り上げの一部は「山形大学基金」を通して本学の学生支援として活用されます。

【山形大学生生活協同組合での販売】

2合(300g)入り1パック（はえぬき、ササニシキ、ひとめぼれ、ミルクークイーンの4種）各330円（税込）

4パック入り箱詰め 1箱1,400円（税込）

小白川・飯田・米沢・鶴岡の各キャンパス内にある山形大学生生活協同組合の店舗のほか、同組合のホームページからも通信販売にて購入することができます。 (<https://www.yamagata.u-coop.or.jp/>)

【ラベルをデザインした佐藤唯杏さんのコメント】

「稲のしなやかさや柔らかく美しい様子を丸や曲線といった抽象的な表現を用いてラベルに込めました。4つのラベルにある穂の色はそれぞれ違いますが、それぞれに他の穂の色が少し加えられており、並べるとグラデーションのように変化することで統一感や視覚的な面白さを取り入れました。」

【山形大学生生活協同組合での売り上げの一部は学生の支援に】

今年度は、2,000パックの販売が予定されており、売上の一部は「山形大学基金」に寄附され、学生支援として活用されます。

※ なお、従来どおり、山形大学農学部附属農場での販売も行います。（学生デザインのラベルはつきません）はえぬき、ひとめぼれ及びミルクークイーンは精白米5kg、玄米10kgで販売します。令和元年度産ササニシキは完売しました。

お問い合わせ

山形大学鶴岡キャンパス事務部総務課附属施設担当

TEL 0235-24-2278

山形大学生生活協同組合 小白川コンビニ店 Ciel

TEL 023-641-8662